

1. 説明文

(1) この図面では、水防法第14条の2の規定に基づく雨水出水浸水想定区域を浸水の深さに応じて色を分けて表示しています。

(2) この雨水出水浸水想定区域は、令和8年3月末時点の遠軽町公共下水道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う雨水出水により発生する内水氾濫の状況を、浸水シミュレーションにより予測したものです。

(3) この浸水シミュレーションにおいて、遠軽町公共下水道による排水施設が整備されていない地域については、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを予測したものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細な浸水シミュレーション結果とは、想定される浸水深が異なる場合があります。

(4) この浸水シミュレーションにおいて、河川の氾濫による浸水及び高潮等による浸水は考慮していません。

(5) 川が氾濫した場合、または土地利用や雨の降り方などによっては、雨水出水浸水想定区域内で着色されていない地域においても浸水が発生するなど、実際の浸水状況と異なる場合があります。

(6) 遠軽町公共下水道により雨水を排水していない区域(計画区域外)は、浸水シミュレーションの対象外となります。

2. 基本事項

①作成主体 : 遠軽町

②指定の根拠法令 : 水防法(昭和24年法律第193号)第14条の2第2項

③対象となる地区 : 遠軽町公共下水道事業予定排水区域(全体計画)

④指定の前提となる降雨 : 想定最大規模降雨(ピーク時の1時間に125mmの降雨)

⑤境界条件 : 排水先(一級河川区間:湧別川)の水位は、既往最大降雨時の水位変動ピークを堤防高に引き伸ばした水位を設定
その他排水先(道河川・市河川)の水位は吐口地点の地盤高を設定

⑥浸水想定手法 : 浸水シミュレーション手法
フルモデル:降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
簡易モデル:降雨損失・氾濫解析のみを実施
(下水道等の排水能力は、道路排水施設能力を一定で考慮)

